

(様式第4号)

## 調査研究完了報告書

調査研究課題	薬剤耐性 HIV の発生動向把握のための検査方法・調査体制確立に関する研究—首都圏近県における薬剤耐性 HIV の発生動向—
研究期間	平成 16 年度～20 年度（ 5 年間 ）
目的	首都圏及び近郊地域の調査体制を確立し、薬剤耐性 HIV の発生動向を把握して、エイズ対策に資する。
得られた成果	<ol style="list-style-type: none"><li>当初は当研究所の単独事業としてスタートした。平成 18 年度以降については、厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業の分担研究として、関東甲信地方の他の 5 つの地方衛生研究所と県内の 2 つのエイズ拠点病院と連携し、広域的な調査体制を確立した。</li><li>茨城県さらには隣接する首都圏近県における薬剤耐性 HIV の発生動向を把握することができた。研究期間中に薬剤耐性変異は検出されなかったことから、当該地域には耐性 HIV は侵入していないと推察される。</li><li>HIV のサブタイプを調査したが、その結果は、県内及び首都圏近県における HIV の感染経路等の疫学的解析に役立った。</li></ol>
成果の普及・活用法	<ol style="list-style-type: none"><li>茨城県のエイズ対策に資する。</li><li>県内のエイズ拠点病院での診療の一助となるよう、情報を提供する。</li></ol>
残された課題・問題点等	平成 20 年度で本研究が終了し、当該調査地域の薬剤耐性 HIV の監視体制がなくなることが懸念されたが、平成 21 年度から埼玉県衛生研究所に分担研究が引き継がれたことにより、調査体制は維持された。